

今年も営業しています！

# 日光湯元キャンプ場



## ご利用案内

**利用期間:**11月頃まで(水道の凍結、雪の状況により変動あり)

**受付時間:**9時~16時30分

**利用料金:**宿泊大人(高校生以上)→1,000円

子供(小・中学生)→500円 小学生未満無料

日帰り(小学生以上)→500円 小学生未満無料

1袋500円で  
薪の販売も  
あります！

※新型コロナウイルス対策に伴い、テント数やご利用人数が多く密になるような場合には、入場制限をかける可能性があります。あらかじめご了承の上、お越しくさせていただきますようお願いいたします。



奥日光の自然情報誌

楓通信 No.142

発行：自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

2020年9月初旬発行

季刊 無料

次号2020年12月初旬 発行予定

『楓通信』定期購読について

本誌は無料です。定期購読は、2年単位(発行数8部)で1,000円(送料・手数料・税込)となっております。

購読をご希望の方は、日光湯元ビジターセンターへ直接お越しになり申込書にご記入いただくか、お電話にてお問合せくださいませ。

不明点やご質問がございましたら、楓通信担当、宮城までご連絡くださいますようお願い申し上げます。 TEL：0288-62-2461

奥日光の自然情報誌

# 楓通信

2020年 No.142

9-11月号



俺様は千手の主じゃ(自称)

(千手の森にて撮影)

## 今号の特集

秋だというのに紅葉を取り上げない強気の特集！

秋の夜長に漂うあの方… 魅力的な秋の蛾

# マニアックに語れ。 のコーナー

其の二



ワレモコウ (花)

「あのいろだけならば 暗すぎる すすきの道をふさぐ われもこう」(作曲:新実徳英 作詞:谷川雁「白いうた 古いうた」より引用) そんな歌い出しから始まるのが「われもこう」という合唱曲です。

奥日光の短い夏が終わる頃、ぼつり、ぼつり、と日当たりの良い場所を選んで暗赤色の花を咲かせます。

ちなみに、花に見える部分は萼(イチゴでいうヘタの部分)が変化したものです。多年生の草本植物で、乾燥した根は生薬の「地榆」として使われます。

われもこう

ひとしずくの秋

秋の奥日光は、無音の冬に向けて、夏には見られなかったドラマティックな変化を見せます。何度目かの秋風が湯ノ湖を渡り、木々の間を縫って抜ける頃には、戦場ヶ原から生まれた音のない紅葉の波が、小田代原、果ては龍頭の滝までを徐々に染め上げていきます。カエデ類やホザキシモツケは言うまでもなく、樹木を這い上がるツタウルシは幹を飾る真紅のレースとなり、カラマツは黄金色の針となって降り注ぎ、ツツジ類はもう一度花が咲いたかの如く、玲瓏たる湯滝のその瀑布と黒々と濡れ続ける岩々を明瞭にするのです。



秋の湯滝



ツタウルシ

燃え上がるような赤、鮮やかな黄色に侵食される樹木と比べると、このワレモコウの赤はなんと暗く、目立たないものではないでしょうか。

秋を集めて花束を作るとしても、このワレモコウはどこまでも脇役で、秋の引き立て役でしか無いでしょう。



紅葉の山



ツツジ

高浜虚子はこの花を、「我もまた 紅(くれない)なりと ひそやかに」と詠みました。決して目立たず、日光の滝が齋す霧に触れる度に濡れるこの花もまた、秋を彩る色の一つであります。高く、鱗雲が抜けるような青空を泳ぎ、僅かに承和色(少しくすんだ薄い黄色)が混ぜられたような秋の日が注ぐそんな日に、この輝く紅色の花を探すのもまた、趣深くもあるかも知れません。

文・デザイン:すず



ワレモコウ

前回に続き新所長による特集! ディープだぜ!

## 第3回 One Team 『絵葉書から見る日光』

子供のころから兄のように慕っていた歳の離れた従兄は古本屋を営んでいて、私の生まれ故郷、福島県の郷土誌を研究していた。どこかの町や村で腐食、廃棄されてしまう運命にある埋もれた資料を探して、個々の価値を見出して散逸しないようつないでいかなければ史実は伝えられない、と好奇心に満ち溢れた眼差しで熱く語っていた姿が忘れられない。

仕事柄、旧家を訪ねて資料を収集していると、隣接する栃木県に関する資料も扱うことが多いようで、ある日10枚の古い絵葉書を私に見せて、一枚ごとに解説してくれた。日光湯ノ湖、日光湯元全景、中禅寺いづみや旅館、華厳ノ滝、日光男体奥ノ院、男体山頂上奥ノ院、慈観ノ滝、裏見ノ滝、田母沢御用邸、那須噴火口望遠である。その当時、全く価値の分からなかった私は、何気なく何処かに保管したつもりが、しまい忘れて最近までずっと見つけれずにいたのである。

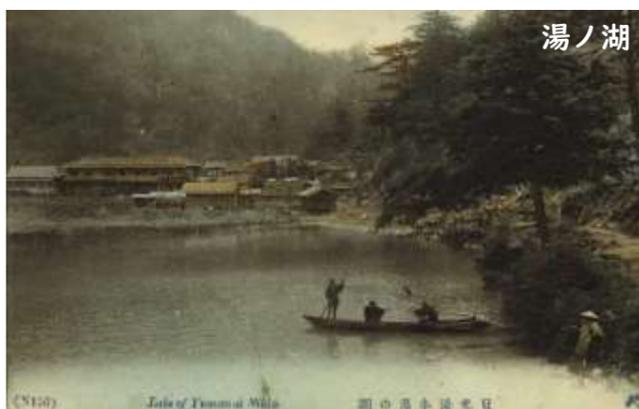


湯元全景

そんなある日、古いアルバムに挟んであった絵葉書を見返し、当時従兄がその価値について話していたことを思い出した。

- ・具体的な内容が記載されている絵葉書のように、誰かに目的を持って使われたものは消印で日付が分かるし、その当時の風俗や生活を垣間見ることが出来て、使用された物にこそ価値がある。
- ・未使用の絵葉書でも、通信欄の様式や書式でおおよその発行年代が分かる。
- ・白黒の写真の一部分に絵の具で色を乗せたカラーもどきがあって、却って画像を台無しにしているものがある。

あの頃少しでも興味を持ち色々教えてもらっていただくと、今は残念に思っている。



湯ノ湖

古書業界は20年ほど前からBOOOオフのように全国チェーン化し、古書を大量に安く仕入れて売るスタイルが主流となった。このため閉店してしまった古書店も多く、取り扱う分野を絞って生き残りを模索しているところが多いという。当時の様子を画像として残している古絵葉書の価値は高く、近年の古絵葉書ブームで、気軽に購入できない値段になってしまった。

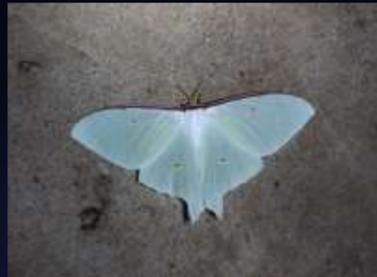
日本地学研究会などが、既に閉山した鉾山を古絵葉書による記録を基に残そうとした「日本の鉾山絵葉書シリーズ」はたいへん興味深い取り組みで、日光に関する資料にも「第1集足尾銅山の絵葉書」「第3集西沢金山の絵葉書」などがある。「西沢金山の絵葉書」の著者の一人である興野氏から直接話を伺ったこともあり、何度か現地にも足を運んだものだ。栗山村の金山に電気を送るために菖蒲ヶ浜に発電所を作ったり、光徳牧場が鉾石運搬の馬を飼育する場であったなど、興味深い。当ビジターセンターでも、新企画の中で是非取り上げてみたいと考えている。



男体山奥ノ院

# 秋の夜長に漂う、あの方…

突然ですが、問題です。この中に『蛾』は何匹いるでしょうか？



正解は…三匹とも蛾でした。左からイカリモンガ、オオミズアオ、トラフツバメエダシャクという蛾です。蛾は苦手、キモチ悪いという方が多いと思いますが、このように、蝶と区別がつかないほど綺麗な蛾もいるのです。これを見てもまだキモチ悪いと思う方は、世界一綺麗な蛾「ニシキオオツバメガ」を調べてみてください。蛾に対するイメージが変わるはず！

蛾は日本に 5000 種以上、蝶が約 260 種とされています。なんと、蛾は蝶の 20 倍！！きつと苦手な方が多いであろう蛾の方が、蝶より種数が多いのです。というわけで今回は、そんな蛾の魅力をお伝えしたいと思います。

## 『蛾』と『蝶』の見分け方について

### 【 飛び時間帯 】

昼間に飛ぶのが蝶、夜に飛ぶのが蛾と思いませんか？実はこの考え、確実とは言えません。なぜなら、夜に飛ぶ蝶、昼に飛ぶ蛾も多く存在するからです。そのうちの1種が、最初の問題で出題したイカリモンガです。昼に飛ぶ蛾で、見た目も蝶そっくり。こうなると、見分けることは困難です。

### 【 触角の形 】

個人的にはこの方法が一番オススメです。右の画像のように蝶はマッチ棒のような形、蛾はくし状、又は先がとがる形になります。何故くし状なのか？それは、夜の暗い中でもメスが出すフェロモンを感知しやすい構造だからです。そのため、触覚が写真のようにくし状の蛾は、オスがほとんどです。



蝶



蛾♀



蛾♂

## 完璧に見分けることは不可能

蝶と蛾の見分け方について説明しましたが、実は明確な違いはありません。国によっては、そもそも蛾と蝶という区別がない国も存在します。あなたが蝶だと思っていたものは実は蛾かもしれないし、蛾だと思っていたものは蝶かもしれません。

これを機に、蛾にも興味を持っていただけたら幸いです。



## ヤマモユ ヤマモユガ科

開帳約 130 mmもの大きさがあり、本州では最大級の蛾です。8月後半から9月に出現するため、秋を告げる蛾でもあります。モスラのモデルになった蛾は、ヤマモユガ科のヨナグニサンという、ヤマモユよりも大きな蛾です。ヤマモユガ科の仲間は胴体が毛に覆われモフモフしてとても愛らしいです。



ウスタビガ



クスサン

開帳約 120 mmの大型の蛾です。下翅に大きな目玉模様があり、危険を感じた際にこれを見せ、フクロウの顔に似せて脅かしているといわれています。



ヒメヤマモユ

開帳約 100 mm大型の蛾です。四つの目玉模様がありヤマモユに似ますが、名にヒメがつく通り、サイズが一回り小さいです。



ウスタビガ

開帳約 90 mm大型の蛾です。10~11月の落葉の時期に出現するため、体色が黄色、茶色に近い色で、枯葉等に擬態しているといわれています。



キシタバ

この仲間はカトカラといわれ、蛾の中ではとても人気の高い種類です。下翅の色が黄、赤、青、白と様々なのが特徴です。



ムラサキシヤチホコ

最後に、ムラサキシヤチホコという、個人的に一番好きな蛾を紹介します。この蛾、横から撮影しているのですが、丸まった枯葉のように立体的に見えませんか？ちなみに右が枯葉です。そっくりですね？外敵から身を隠すためこの模様になっています。自然界のトリックアートです。



その辺の枯葉

# ビジターセンターのイベント

## 今こそ始めよう！焚き火体験

焚き火からの、キャンプデビューなんていかがでしょう？

10月3日（土）

13:00-16:00

最近注目されているキャンプ！キャンプといえば焚き火！様々な方法で薪の組み方、火のつけ方などレクチャー。実際にお湯を沸かしたり、簡単に食べ物を焼いたり？！してみましょう！

【開催場所】日光湯元キャンプ場

参加費 1,000 円

対象：現地に集合できる小学生以上の方  
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)  
集合場所：日光湯元ビジターセンター  
定員：10名 先着順 (要予約)



## 宝石箱や～！秋の星空観察会 Vol.2

今年こそは本物の星空をお見せしたい…！

10月10日（土）

20:00-21:00

湯元は星空がとってもきれいなのです！この日は半月なので、月と星の両方を観察できます！お得！「湯元に泊まったのは良いけどやることがなくなっちゃった…」そんな方の飛び入り参加もOK！

【開催場所】湯元温泉街内

参加費 500 円  
(小学生以下は無料)

対象：現地に集合できる中学生以上の方  
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)  
集合場所：日光湯元ビジターセンター  
定員：先着 20名程度 (事前予約不要)



※夜は冷えますので防寒対策はしっかりと！

## 【修験道シリーズ3】我ら『八丁出島』探検隊！

そもそも行けるの？！八丁出島の先端を目指します！

10月22日（木）

9:30-15:00

八丁出島は遠くから見るだけではないのです！探検気分道なき道を進み、その頂点？へ行きましょう！さらにこの時季は紅葉も良いはず！楽しみ満載です！

【ルート】歌ヶ浜第一P⇄中禅寺湖畔⇄八丁出島

参加費 3,000 円

対象：現地に集合できる中学生以上の方  
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)  
集合場所：歌ヶ浜第一駐車場  
定員：10名 先着順 (要予約)



## 【修験道シリーズ4】修験の聖地 大多和宿

修験の聖地でいざ！冒険だ！！

11月8日（日）

9:00-15:30

修験の歴史に浸りつつも、藪漕ぎで思わずワクワクすること間違いなし！大人気イベントなのでお申し込みはお早めに～

※特別許可を得て開催  
【ルート】梵字飯場跡P→大多和宿→志津宿→梵字飯場跡P

参加費 3,000 円

対象：現地に集合できる中学生以上の方  
(15歳未満は保護者同伴・20歳未満は親権者の同意必要)  
集合場所：梵字飯場跡駐車場 (参加要項で詳しくご説明します)  
定員：10名 先着順 (要予約)



### お申込み先

自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

FAX：0288-62-2378

お申込みの際、平成31、令和元年実施イベントの参加の有無、氏名・年齢、郵便番号・住所・電話及び当日連絡先、交通手段をお知らせください。(日程や内容が変更になる場合があります。予めご了承ください)